⑸　たな卸資産の評価基準及び評価方法

①　評価基準

低価法を採用しております。

②　評価方法

最終仕入原価法により行っております。

但し、金券類については個別法によっております。

⑹　外貨建資産及び負債の本邦通貨への換算基準

外貨建金銭債権債務は、期末日の直物為替相場により円貨に換算し、換算差額は損益として処理しております。

⑺　国立大学法人等業務実施コスト計算書における機会費用の計上方法

①　国等の財産の無償又は減額された使用料による賃借取引の機会費用の計上方法

近隣の地代や賃借料を参考に計算しております。

②　政府出資等の機会費用の計算に使用した利率

新発10年国債の決算日における利回りを参考に1.340%で計算しております。

⑻　リース取引の会計処理

リース料総額が３百万円以上のファイナンス・リース取引については、通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理方法によっております。

⑼　消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理方法は、税込方式によっております。

⑽　財務諸表及び附属明細書（利益の処分に関する書類（案）を除く。）端数処理

財務諸表及び附属明細書（利益の処分に関する書類（案）を除く。）は、千円未満切捨により作成しております。

貸借対照表関係

運営費交付金から充当されるべき退職給付の見積額は348,969千円です。

運営費交付金から充当されるべき賞与の見積額は42,558千円です。

損益計算書関係

固定資産除却損の内訳は以下の通りです。

工具器具備品　０千円

キャッシュ・フロー計算書関係

⑴　資金の期末残高の貸借対照表科目別の内訳

現金及び預金　578,181千円

資金期末残高　578,181千円

重要な債務負担行為

該当事項はありません。

固定資産の減損に係る注記事項

⑴　減損を認識した固定資産

用　途	種　類	場　所	帳簿価格	減損の認識に至った経緯	減損額のうち損益計算書に計上した金額	減損額のうち損益計算書に計上していない金額	回収可能サービス価額
ＳＣＳアンテナ基礎	構築物	葉山キャンパス	5,845千円	遊休状態で、将来の使用見込みが客観的に存在しない	―	5,845千円	使用価値相当額が０円であると判断し帳簿価額を０円まで減損した後、当事業年度中に除却処理を行った

⑵　減損の兆候が認められた固定資産

用　途	種　類	場　所	帳簿価格	認められた減損の兆候の概要	減損の認識に至らないとした根拠
電話加入権	電話加入権	葉山キャンパス	390千円	市場価格の著しい下落	回収可能サービス価額が当該資産の帳簿価額以上であるため

重要な後発事業

該当事項はありません。